

# 心がはずむ 体がはずむ

一人一人の自己肯定感を高め  
未来の礎を育む



高松市立幼稚園・高松市こども園長会



令和元年 10月

生涯にわたる人格形成の基礎を培い  
未来を切り拓くための資質・能力を育む

高松市立幼稚園・高松市こども園では  
子どもが主体的に関わり、育ち合える教育環境を創造します

子どもが安心して自己発揮できる  
ような保育者の幼児理解や関わり

- \*一人一人の人権を尊重し、思いに寄り添い、肯定的に受け止める
- \*一人一人の発達の特徴、興味・関心を理解する
- \*一人一人に応じた支援や指導を行う

遊び込み 試行錯誤しながら  
様々な体験ができる教育環境

- \*やりたいことに繰り返し取り組む
- \*達成感や充実感、葛藤を味わう
- \*感じたこと、気付いたことから次の意欲を高める
- \*友達と対話、協同、共感する



## 自発的な遊びの中で育つ 非認知能力

**非認知能力**とは、意欲や協調性、忍耐力、やり遂げる力などのこと。ジェームス・ハックマン博士は『幼児期に質の高い幼児教育を受け、非認知能力を身に付けることが、その後の学力向上や幸福、経済的な安定につながる』という研究結果を報告しています。

幼児期の自発的な遊びには認知能力(理解力や思考力)だけでなく、非認知能力が育つ内容が多く含まれています。

## 環境を通して行う教育

Q. 環境って、なあに？

A. “人・もの・こと” など  
子どもが出会うものすべて！

「何だろう」「やってみたい」と興味や関心を持った「環境」に直接かかわることで得られる体験が、子どもにとって発達するうえでの豊かな栄養となります。

子どもが「環境」にじっくり関わっているか、満足感や充実感を得ているかなど一人一人の経験していることを捉えながら、子どもの発達に即したものとなるように、常に「環境を再構成」するのが教職員の重要な役割です。



具体的な教育環境については、3.4ページへ

学校教育全体の生活や学習の基礎を培う  
幼稚園・こども園の教育

## 新しい時代に求められる 資質・能力

- ※知識・技能
- ※思考力・判断力・表現力等
- ※学びに向かう力・人間性等

高等学校

小学校・中学校

幼稚園・こども園

家庭 地域  
関係機関

連続した  
発達・学び



幼児期は、遊びを通じた総合的な指導の中で、  
将来につながる学びの重要な基礎を育てていきます

### 幼児教育において育みたい資質・能力

- ※知識・技能の基礎** …… 豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり分かったり、できるようになったりする
- ※思考力・判断力・表現力等の基礎** …… 気付いたことや、できるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする
- ※学びに向かう力・人間性等** …… 心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする

幼児期にふさわしい遊びや生活を積み重ねることにより  
見られるようになる幼児の育ち



出典：幼稚園教育要領

# 遊びの中の学びと環境・事例1

## 砂・土・水に関わる遊び



異年齢で交流しながら思いに沿って遊んでいる砂場にも、子どもたちが、思わず関わったり、試したりしたくなる環境や援助など、様々な成長のチャンスが仕組みられています。

直接触れて感じることで、感じたことを友達と共有すること、試すこと、イメージすること、協力することなど、遊び込むうちに、いろいろな経験が蓄積されます。

思いや気付きを伝え合いながら、心と体を動かして遊びに取り組みます。

言葉による  
伝え合い

「もっと水が  
いるよ」  
「こっちのバケツ  
の方がいっぱい  
運べるね」  
「重〜い！」

数量や図形、  
標識や文字等へ  
の関心・感覚

「小さい貝殻  
見つけたよ！」  
「海から  
来たのかな？」

自然との関わり  
生命尊重

「雨どいを持ちあげてみたら？」  
「流れるスピードが速くなった！」  
「もっと持ちあげてみようよ」  
「めっちゃ速くなる  
んじゃない？」

思考力の  
芽生え

「砂が熱いよ」  
「水は冷たくて気持ちいいね」  
「こっちのほうが涼しいよ」  
「プリンができたよ」  
「おいしそー♪」

豊かな感性  
と表現

「この穴、もっと深く  
しよう」（しっかり  
足を踏ん  
張って）

健康な  
心と体



「すぐに崩れて  
しまう」  
「もう1回挑戦  
しよう」

自立心

「こっちから  
掘るね〜」  
「こっちからも  
掘るよ〜」  
「やったー！  
つながった」

協同性

「何作ってるの？」  
「こっちが海で  
こっちが島だよ」  
「ここからフェリーで  
渡るんだよ」

社会生活  
との関わり

「貸して」  
「今使ってるからダメ」  
「じゃあ後で貸して」  
「うん、ちょっと  
待ってね」

道徳性・規範  
意識の芽生え

私たちも一緒に遊んで  
感じたことを伝えよう。

雨どいの傾斜と水の流れ方に  
気付いていたね。何度も流して  
試せるように、水を汲む場所を  
近づけておきましょう。



〇〇ちゃんは自分から「貸して」って言え  
し、貸してくれるのを待とうとしていたね。

すぐに使いたい気持ちと葛藤しながら、待とう  
としている姿を認めていこう。

代わってもらってうれしい気持ちを伝えること  
で、互いのことがより好きになるかも。



## 遊びの中の学びと環境・事例 2

### 作ったり・描いたりする遊び



今までの経験を活かし、イメージしたことを友達に伝えたり、考えを共有したりしながら、遊びを自ら創りだしていくことで、協力し合うこと、やり遂げた達成感、相手の思いに気付くなど様々なことを学んでいきます。

学級みんなで読んだ絵本の中に出てきた恐竜が作りたくなった5歳児。

友達とイメージを共有しながら、イメージしたことを実現したいという気持ちが高まってきました。どんな環境が必要かな？

経験したことや考えたことなどを自分なりの言葉で伝えたり、相手の話を聞こうとしたりすることを繰り返し、相談しながら遊びを創っていきます。

言葉による  
伝え合い

「黄色と、赤のシマシマにするとカッコイイかな？」

豊かな感性  
と表現

「大きなダンボールを組み立てるのは難しいな…。でも、諦めないよ」

自立心

「羽の形は四角より三角がいいかな」  
「入る場所が分かるように、『いりぐち』って書いた紙を貼ろう」

数量や図形、  
標識や文字等  
への関心・感覚



「大きな恐竜を作ろう！」  
「テープで羽を付けようよ」  
「じゃあ、こっち側を押さえておくれ」

協同性

「背中に乗れるようにするのはどう？」  
「その考えいいね！」  
「このダンボールが立つようにしたい」  
「この棒で支えてみる？」  
「2本にしてみよう」

思考力の  
芽生え

「できあがったら、お客さんを呼びたいね」  
「遊園地みたいにチケットを作ろう」

社会生活  
との関わり

「登ってばかりしないで手伝ってよ」  
「上の方を確かめていたんだよ」  
「そうだったんだ」  
「交代してみる？」

道徳性・  
規範意識の  
芽生え

昨年の年長児の遊びを思い出して、自分たちもやってみようだね。

どんなふうに作りたいか、どんな材料が必要か、考えたことを伝え合う場が大切だね。

うまくいかないことがあっても、諦めずに次の方法を考える姿を認めよう。



子どもたちの発想が広がったり、試したりできるような素材を準備しよう。

作り変えながら、イメージが膨らんできたね。遊び込める時間を確保しましょう。

家庭からも必要な素材を選んでくるかもしれないね。お家の方にも子どもの思いを伝えておこう。

## 親と子が共に育つ家庭連携

### ◆毎日の送迎・懇談会・教育相談

教職員と保護者が、お子さんの日々の様子や成長を伝え合ったり、相談したりする機会がたくさんあります。

### ◆参観・参加日・保護者交流

お子さんと一緒に活動する体験を通して、子どもの発達や関わり方を学んだり、子育ての楽しさを味わったりすることができます。

### ◆家庭教育学級

専門家による講話など、子育てのヒントが得られる機会があります。



家庭と

地域と

つながる

## 心が揺り動く豊かな体験

### ◆地域の人が見守る安全な園



コミュニティ協議会等と連携し、地域の園として大切にされています。地域の方のやさしさや温もりを感じる交流ができます。

### ◆直接体験 ～自然・文化・伝統～

畑や公園など、地域の自然の中で遊んだり、行事に参加したりします。



幼児期

学びの芽生え

遊びや生活の中で、様々な対象と直接関わりがながら総合的に学んでいく

幼児教育から小学校教育へ

幼稚園・こども園・小学校の連携



児童期

自覚的な学び

自分の課題の解決に向けて、計画的に学習を進めていく

子どもの育ちをつなぐ

### 教職員が つながる

#### \*参観・研修会

- ・教職員が互いの授業や保育を参観
- ・「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を参考に子ども理解や教育内容について協議



### 子ども同士が つながる

#### \*学校への安心と期待

- ・幼児が小学校の施設を利用
- ・小学生や小学校の先生と関わる交流活動

### 教育内容が つながる

#### \*アプローチ・スタートカリキュラム

- ・幼児期から児童期の発達や学びが つながる教育課程の作成・改善

## 特別支援教育

安心して過ごせるために

一人一人の特性に応じた  
環境や関わりとなるように

- ◆全教職員が特性を理解して、連携しながら、**温かい集団**をつくります。
- ◆個別の指導計画や教育支援計画を作成し、**長期的な視点での支援**や家庭・関係機関・就学先等との**連携**に活用します。
- ◆特別支援教育コーディネーターの配置や専門家による訪問指導、全教職員の専門研修の受講などにより、『**インクルーシブ教育**』をすすめます。

## 子育ての支援

地域の幼児期の教育センター

### ◆園庭・施設開放

未就園の子どもと保護者が安心して遊べる場を提供しています。



### ◆体験入園・行事参加



親子で行事に参加したり、園の子どもたちと触れ合っ  
て遊んだりする機会を設けています。

### ◆子育てや発達相談

子どもの発達や、関わり方、生活習慣、遊びなどの相談に応じています。専門機関等も紹介しています。



## 幼児教育の専門家として

子ども一人一人に愛情をもって関わり教育環境づくりを行うために

教職員研修を通して**実践力**や**総合的な人間力**を高めています

### ～ 研修内容 ～

幼児理解	人権・同和教育	特別支援教育	健康・運動
自然・環境	表現・造形・音楽	小中学校との連携・接続	
自己評価	安全・保健・衛生	コンプライアンス等	

### 園内研修



教育・保育課程や保育記録等をもとに、日々の保育内容を考え環境を準備します。教職員間で子どもの育ちや保育内容について話し合う『**保育カンファレンス**』を行い、多面的に幼児の内面を理解し、環境の再構成をします。

### 園外研修



他園の保育を参観し、多くの関係者と協議したり、教材研究をしたりして、実践力を高めます。また、各専門家による講義を受講し、専門性を高めます。

### 学校評価

園運営について保護者・地域・学校関係者から意見や協力を得ながら、教育内容や環境などの改善を図っています。



# 高松市立幼稚園・高松市こども園一覧表

幼稚園名	TEL (087) -
前田	847-6582
川添	847-6934
三溪	889-2514
香西	882-0161
一宮	886-3088
多肥	889-2513
川岡	885-0550
円座	885-0846
檀紙	885-2595
弦打	881-3563
鬼無	881-4913
木太	833-8144
春日	843-2767
木太北部	862-1031
栗山	845-1646
大町	845-5718
大野	886-5010
国分寺北部	874-1155
国分寺南部	874-1159

こども園名	TEL (087) -
下笠居	882-2531
はら	845-0234
庵治	871-2535
香南	887-7876
塩江	890-2022
川東	879-4602
屋島	841-9711
林	865-1676
川島	848-1978
浅野	889-2416

各こども園ホームページは、

〇〇こども園 で検索

→ 幼保連携型認定こども園

〇〇こども園-「子育て県かがわ」  
情報発信サイト

(公式情報は「子育て県かがわ」  
情報発信サイト Colorful のもの  
です)

各幼稚園ホームページは、

高松市立幼稚園 で検索

- 高松市立幼稚園一覧 | 高松市
- 高松市立幼稚園一覧
- 幼稚園名をクリック!



園情報は、令和3年4月現在のものです